

令和7年度 学校評価報告書

蒲
南



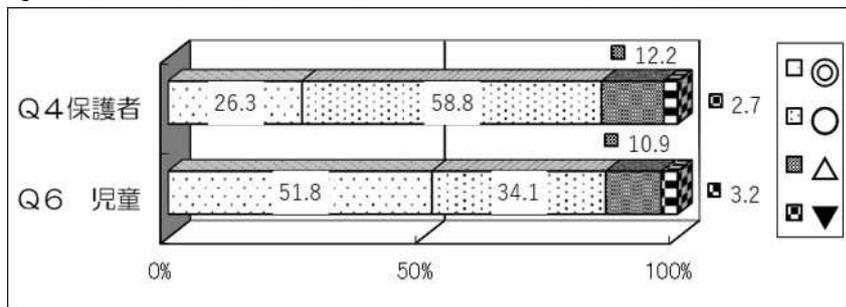
校訓『自主創造』
蒲郡南部小学校

令和8年2月

つ運動には、PTAの方や地域ボランティアの方も参加していただき、笑顔であいさつを返したり、自分から進んであいさつしたりする子が増えてきました。今後も、子どもたちがあいさつの大切さを理解し、進んであいさつできるようにあいさつ運動は継続していきます。また、Q4児童の◎と○の合計については、91%の子どもたちがあてはまると回答しています。これは、昨年度より2%ほど上がりました。「話す相手に目・耳・心を向けよう」と静かになるまで待つことや授業展開に工夫を行うよう今後も一層努めていきます。そして、あいさつ、返事、話を聞くこと等、基本的な生活習慣づくりに向けて、学校・家庭・地域と連携を図りながら取り組んでいきたいと思ひます。Q5児童は、◎と○の合計は、66.8%とQ4児童の「話を聞く」ことに比べると低い数値となっていますが、総合的な学習や道徳の授業などは自分の考えを話すことができる子が増えていると感じています。互いの考えを認め合う活動を大切にすることで、考えを発表しやすい雰囲気づくりに努め、他の教科でも自分の考えを進んで話せる子を育てていきたいと思ひます。

Q4 (保護者) お子さんは、各教科の基礎・基本的な学力を身につけている

Q6 (児童) 授業の内容がよくわかり、楽しく学習している

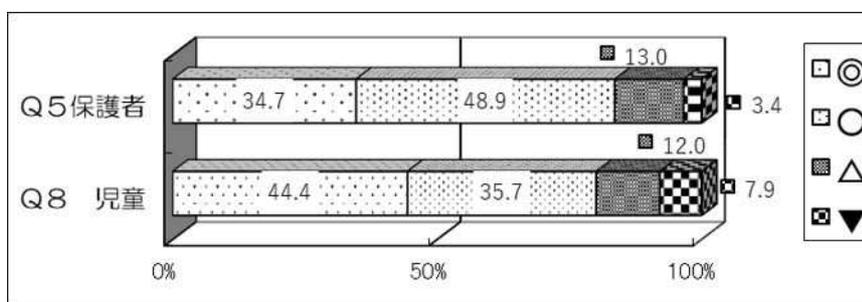


◎と○の合計がQ4保護者は85.1%、Q6児童については85.9%となりました。授業づくりにおいて、子どもたちが意欲をもって楽しく学習し、各教科の基礎・基本的な内容を理解できるよう努めてきました。今後も、基本的な学力を身につけ、自ら学ぼうとする力、粘り強く考える力を伸ばせるよう、職員一同努力してまいります。併せてご家庭でも学習の習慣づくりにご協力をお願いします。

ばせるよう、職員一同努力してまいります。併せてご家庭でも学習の習慣づくりにご協力をお願いします。

Q5 (保護者) 先生は、子どもをよく理解し、子どもが相談できる存在となっている

Q8 (児童) 困ったことがあったら、先生に相談している

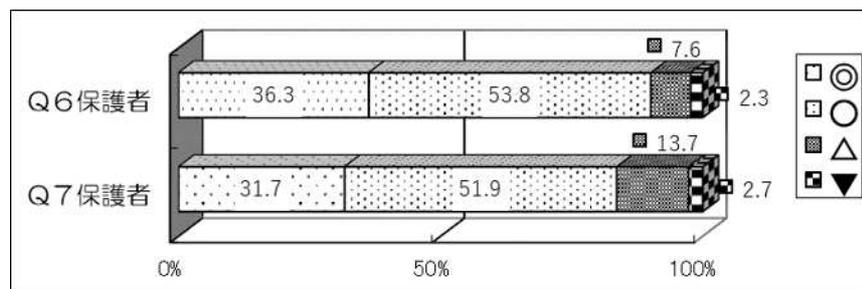


◎と○の合計がQ5保護者については83.6%、Q8児童は80.1%でした。今後も子どもたちの様子をよく見ていくとともに、子どもたちの思いに寄り添い、困ったことを相談しやすい雰囲気づくりに努めてまいります。また、定期的に教育相談の時間を設け、一人一人と話を

をする時間を大切にしていきます。そして、学校と家庭が連携していくことで、子どもが感じている不安や困りごとをいち早くとらえていけるようにしていきます。

Q6 (保護者) 先生は、分かりやすくていねいに教えてくれる

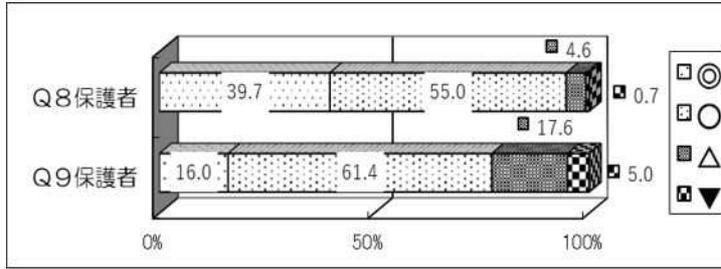
Q7 (保護者) 学級・学年の様子を通信や懇談会等でよく知ることができる



◎と○の合計がQ6保護者は90.1%で9割以上という高い評価をいただきました。また、Q7保護者は、83.6%となりました。しかし、昨年度と比べると1~3%ほど下がりました。今後も分かりやすく丁寧な学習指導となるように研修に努め、実践していきます。また、学年

通信や校長だより「つなぐ」等を工夫し、学校生活の様子が保護者の皆様にはしっかりと伝わるようにしていきたいと思ひます。併せて、ご家庭でも学校での出来事を話題にさせていただけると幸いです。

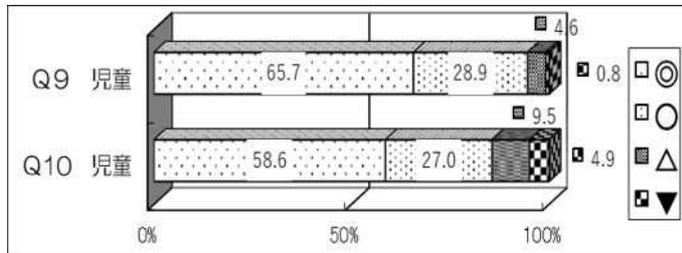
- Q 8 (保護者) 学校は、子どもの安心・安全、そして、健康的な生活づくりに努めている
 Q 9 (保護者) 学校の設備等は、安全で充実したものになっている



Q 8 保護者の◎と○の合計は 94.7% でした。避難訓練や安全教室 (バス利用、自転車利用、情報モラル教室、蒲南セミナー等)、かけ足訓練等、今年度も、ご家庭のご協力とご理解をいただきながら子どもたちの健康教育、安全教育を進めることができました。今後も、子どもたちの安心・安全、そして、健康的な生活づくりに努

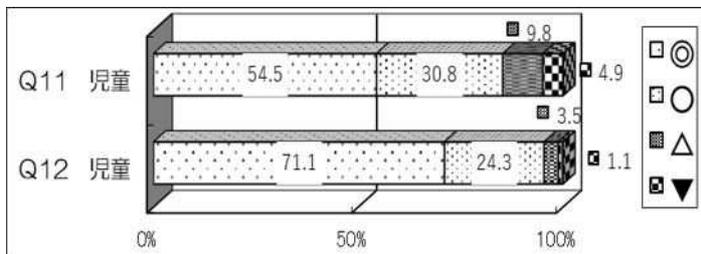
ていきます。Q 9 保護者の◎と○の合計は 77.4%と昨年度と大きな変化はありませんでした。また、他の項目と比べてやや低い数値となっています。「保護者のご意見・ご要望」でも「遊具をもう少し充実させてほしい」とのご意見をいただいておりますので、今後も粘り強く市に要望をしていきます。

- Q 9 (児童) 友達にやさしくしようとしている
 Q10 (児童) 自分にはよいところがある



◎と○の合計がQ 9 児童は 94.6% でした。Q10 児童は◎と○の合計が 85.6% で、8 割以上の子が自分のよさに気づいていることが分かります。今後も互いを思いやり、尊重し合う学級経営を大切に、子どもの心を育てる道徳教育を通して、周りの人にやさしくできる子、そして、自他のよさを認め合える子を増やしていきたいと思

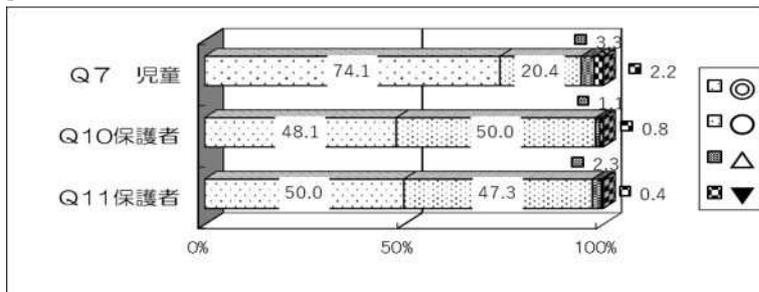
- Q11 (児童) 学校からもらったお手紙を忘れずに家族に見せている
 Q12 (児童) 掃除や係の仕事を一生懸命やっている



Q11 児童の◎と○の合計が、85.3% でした。全体としては、多くの子どもたちは通信やお知らせを家族によく見せていることが分かります。昨年度 10 月より通信等はコードモンで配信しておりますのでそちらでのご確認もお願いいたします。Q12 児童については、◎と○の合計が、95.4% でした。数値が少しずつ上がってきています。(昨

年度 93.5%、一昨年 88.5%) 子どもたちは集中して掃除に取り組み、係の仕事に対しても責任をもって行う子が多くいます。今後も清掃活動や、係活動、委員会活動等を通して、何事にも一生懸命取り組める子どもたちを育てていきたいと考えます。

- Q 7 (児童) 地域の方との勉強や活動は楽しい
 Q10 (保護者) 学校は、地域に開かれた学校づくり (授業の公開、行事への招待、地域行事への参加) に取り組んでいる
 Q11 (保護者) 学校と地域で「まちぐるみで子どもたちを育てていく」ことが大切であると思う。



◎と○の合計はQ 7 児童が94.5%、Q10保護者が98.1%、Q11保護者が97.3%と昨年度よりさらに数値があり、高い数値を示しています。蒲郡中学校区がコミュニティスクールとなり、年3回の学校運営協議会を通して、地域で子どもを育てていくという意識も少しずつ高まっています。また、地域学校協働活動の取り組みも

5年目となり、今年度も多くの地域の方々をサポートとして、授業づくり、子どもたちの見守り、環

境整備などご協力いただいています。また、クラブ活動（4～6年生）では、地域の方々が「先生」となって教えてくださり、楽しく充実した活動となりました。今後も保護者の皆様や地域とともに、子どもたちの成長を育んでいけるよう開かれた学校づくりに取り組んでいきます。

子どもたちの健やかな成長を願い、学校と家庭と地域がつながって、いっしょに考えていきたいと思っています。お気づきのことがありましたら、お気軽にご連絡ください。よろしく願いいたします。

<蒲郡南部小学校をよりよくするためのご意見>

※よりよくするためのご意見として要約したものを以下に載せます。

※個人が特定されるようなものは除いてあります。

【①楽しく学校に通っている】

- ・遠足や運動会、がまなんまつりなど毎回の行事をすごく楽しみにしていました。学級閉鎖の時には友だちに会えずつまらないと言っておりましたし、学校が楽しく通えていて本当にありがたいことです。それも先生方が安心して過ごせるクラスを作ってくれているおかげだと思っています。いつも感謝していますありがとうございます。
- ・6年生との行事など他学年との関わりもあり楽しそうです。水遊びなども、気温に応じてしていただき感謝です。
- ・学校が楽しいみたいです。ありがとうございます。
- ・今年はPTA活動で写真がネット上で買えるようになったり、企画で運動会綱引き、蒲南祭りが行われるなど子どもたちが楽しめる行事があったので学校へのモチベーションになっていました。
- ・子どもの何気ない一言から先生が自然に会話を広げてくれ、子どもたちの自主性ややる気をうまく引き出してくれている。
- ・先生方に信頼をおき、友達と関係が崩れそうな時も先生が介入してくれ仲良く過ごせていると思います。学校行事があるたびに子供から嬉しそうに話してくれるので、楽しく通学できていて安心できています。いつもありがとうございます。

【③あいさつがしっかりできる】

- ・忙しい中先生方は気にかけてくれていると思いますし、あいさつをしてくれて子供もあいさつを返せる練習になっております。ありがとうございます。
- ・あいさつができるかや学校が楽しいかどうかは個人の性格によると思います。
- ・地域の方や病院等であいさつしてくれるのですが、あいさつを返すのが照れるのかしません。してくれたいのになと思いつつあいさつする姿を見せたり言わせたりしています。
- ・家庭と学校との顔が違うので、学校では頑張っているようだが親のもとでは徹底できていない。
- ・あいさつの大切さは家庭においても繰り返し伝えてはいますが、子ども本人の恥ずかしがり屋な性格により、なかなか自ら進んであいさつができない、または声が小さくて相手に届いていないと感じることがあります。引き続き、促し見守っていきたいと思います。

【④各教科の基礎・基本的な学力を身につけている】

- ・2年生になり漢字のノートがほぼなくなり、ドリルをみても、とめはねはらいが間違っている丸がうってあり指摘がない。家でやるよう促すが一年生の時とくらべ、学力が落ちたように感じている。
- ・漢字ドリルをやらずに音読の宿題があるため、読めない。せめてドリルで習ってからにしてほしい。
- ・単元が終わった後に終わった単元のドリルを学習するのが、遅すぎて理解出来ない。
- ・宿題の量が足りないと思います。漢字ノート、算数の宿題、音読とこの3つは毎日出してもいいと思います。先生の負担になるのなら、丸付けは親がやってもいいのかなと思います。塾などに行っていない子にとっては、基礎学力をつけるという意味でもう少しやるべきだと思います。
- ・基本的には理解していると思いますが、カタカナが身につけていません。ひらがなのように毎日の宿題で出してほしかったです。

【⑤先生は子どもをよく理解し、子どもが相談できる存在】

- ・担任の先生は子どものことをよく見守って下さっています。子供は担任の先生を信頼しています。
- ・先生のごことは大好きなのですが相談するというのはまた照れるみたいで大切な事が言えません。親以外にも大事な事を相談できるといいのになと思います

- ・子どもたちと向き合っているいろいろと対応してくださりありがとうございます。
- ・家では問題行動やけんかが多く、子どもへの対応が大変ですが、いつも先生が子どもの良いところ、よい姿を教えてくれるので、子どもを認める機会になります。いつも丁寧に関わっていただきありがとうございます。
- ・担任の先生が子どもの性格や様子に合わせて対応してくださっているので心配事を相談できました。お忙しい中対応してくださりありがとうございます。
- ・子どもは学校について不満や困りごとがあっても、「それは無理だから」と初めから諦めていることがあります。給食の時間がない、放課に遊べない等々子どもたちの声を聞いてもらえる機会があるといいなと思います。
- ・宿題の内容や持ち物のルールがクラス(先生)によって違うようなので、せめて学年で統一してもらえると子ども達も納得できると思う。
- ・担任の先生が性格的に合わないようで、学校に行くのが毎日苦痛なようです。
- ・担任の先生の対応が色々と目に余る。担任の先生が体調を崩して学校に来ていないので、担任として機能しているのか不明

【⑦通信・懇談会等で学校の様子わかる】

- ・初めての学校生活で、通信をたくさん出してくださり学級や子どもたちの様子がよく分かり安心します。とてもよい小学校生活のスタートが切れたことに感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・今年は特に学級通信がほぼない。学年通信は最低限で様子が分からない。

【⑧安全・安心、健康的な生活づくりに努めている】

- ・インフルエンザやその他感染症の流行について、学級閉鎖よりももっと早い段階で、何年生にどういった感染症が何人ではじめているか等、コドモンを通して定期的に配信していただけたら、予防や早期診断に役立つのではないかと感じます。
- ・夏だけは上着(体操服)をズボンから出すことを許可してほしいです。(熱中症予防の観点から。上着をズボンに入れるとより熱がこもりやすく熱中症のリスクが上がります。)
- ・授業のはじめ30秒を使って全員で水分補給をする時間にしてほしいです。特に低学年は休み時間中はどうも飲み忘れることもあるかと思えます。こまめな水分補給を教育の一環として授業中に行ってほしいです。
- ・体育で頭はね起きをして首を痛めました。子供にとってはメリットよりもリスクが大きい演目ではないでしょうか。ご検討をお願いします。
- ・体を動かす時間が昔に比べて減ってると思うので(部活がない、駆け足訓練も昔より短い)、楽しく体を動かす機会をより多く持てるといいなあと思っています。

【⑨学校の施設、設備】

- ・もう卒業ですが、在校生のためにも新しく入ってくる子どものためにも遊具をもっと充実させて欲しいです。
- ・もっと遊具を充実させて欲しい。部活がなくなったのなら、遊びの中で、体づくりが出来るように。
- ・エアコンがない部屋にエアコンを設置してください(音楽室など)
- ・日常生活では使うことのない、学校の授業でしか使わないものは、個人購入ではなく学校の備品になるといいなと思います。
- ・体育のマットやその他備品が破れたままだと聞きました。
- ・タブレットの更新、体育館のエアコン設置など少しずつ進んでいる点はよい。プールの老朽化が心配。
- ・プールをもう少し改修してほしい。プールサイドの地面が暑すぎて子供達もお水を撒いている見守りの方も大変そうでした。また更衣室もかなり古いと子供から聞いています。予算的に厳しいと思いますがよろしく願いいたします。
- ・子どもたちが放課に体を動かして遊べる環境づくりを引き続きお願いしたいです(遊具やボールの充実など)。

【⑩地域に開かれた学校づくり】

- ・今年は蒲南まつりを公開していただき、子どもたちが力を入れて準備してきた集大成の姿を見ることができて嬉しかったです。

【⑩「地域で『まちぐるみ』で子どもを育てていくこと」が大切】

- ・地域の方がイベントを企画してくださり、ドッジや水鉄砲など、他学年や地域の方と話したり遊んだりする企画があり、帰宅してからどんな様子か子供から素直な反応があり嬉しい。”
- ・地域の方と共に、学びの場が設けられており、嬉しく思います。
- ・地域の方の参加はありがたいが、小児性愛者などが侵入しないかが心配であり、ある程度フィルターをかけてほしい。自分も積極的に参加できるとよいが、仕事をしていると大きな行事のために休暇を取るのに精一杯で意見を言いづらい。
- ・子ども達が公園にお菓子のゴミを捨てて行く。町内会でも問題に出てるが学校側は指導はしませんのでしょうか。

【その他】

- ・なかよし登校が上手く機能していない気がします。
- ・なかより登校になり、登校時のトラブルがなくなり、元気に登校出来ていて嬉しい。このまま続けて欲しい。
- ・下校も分団で下校をなくし、なかよし下校にして欲しい。
- ・下校時、下の学年を抜かしてはいけない、整列した順で帰宅などルールがあるようだが、わざと妨害したり、帰らせないよう意地悪をする子がいる。習い事や病院に行きたい時に帰宅してもいい時間に、ルールがあるため帰宅が遅くなり帰ってこないため心配になる日がある。先生からの注意も効果がないため、帰りもなかよし下校にして欲しい。
- ・運動会の保護者観覧所（前方）は入れ替え制がよかった。椅子を持ち込んで、こどもや孫の出番でないときも居座った人だらけで、よく見れなかった。
- ・授業中に他の生徒を注意するため中断や、自習になることがあると何度も聞きます。休み時間や放課使って授業が出来るようにしてほしい。
- ・問題がある生徒が多数いる場合は、もっと保護者と連携をとり、子供たちがちゃんと授業が受けれるようご家族にも協力を促して欲しい。
- ・長期休みに持ち帰りがあるが、持ち帰った際に子供が自分でドリルパークなど操作ができるくらいまでタブレットに慣れさせてほしい。
- ・新機種の子供用タブレット学習が12月に入るまで別室に保管され触ることもなかったと聞いています。隣のクラスや1年生ですらタブレットに触れていたのに、ログインすら出来ない状況を親に説明してもらいたい。使い方が悪かったのか、先生が見きれない、先生がタブレットに慣れていなくて苦手など。
- ・中学年ですがまだ行事の持ち物などしっかりと把握するのが難しいので遠足などの案内、持ち物など書いたものはプリントで出してもらった方がいいと思いました。6年がそういったものはプリントされて貰えるのに3年がもらえないのは疑問です。
- ・1組のように週明けに半日登校は仕方ないが、2組の学級閉鎖→半日登校→再度学級閉鎖は、学級閉鎖明けに登校できる人数の把握ができていれば半日登校せずに過ごせたのではと思う。すべての家庭に電話は先生の負担なので、コドモンで健康状況のアンケートフォームを送り、回答済みの家庭には電話は省略するなど工夫できるとよい。
- ・働く親が増える中、学校都合での早帰りは極力ない方が親は助かります。児童クラブに入っていないなくても働いている親はたくさんいると思いますが、特に低学年はその都度子どもを家に1人にしたり、親が仕事を調整したりする必要があります。先生の負担が増えないよう、自習や自由時間でもいいので、早帰りの日が減るといいなと思います。
- ・先日の持久走プレーデーが急に日程変更になり、仕事の都合上、見に行けなくて、悲しかった。学校側の都合もあるかと思いますが、学級閉鎖にならなかった学年は予定通り行う、または、年明けに予定を組み直す、などして欲しかったです。
- ・PTA役員で、蒲南小は学年人数が少なすぎる訳でもないのに、PTA活動をした家庭の免除される年数を長くしていただけると良いかと考える。（2年免除→5年免除 等）
- ・PTAを投票で決めることに不公平性を感じる。一度もやらない人がいる中、役員をしてもらった2年の免除でまたやる可能性プラス、投票でも決まるのはおかしい。一度やったら子が卒業するまで免除でよい。人数的に被らないし、くじで公平に決めるべき。変更して欲しい。

【まとめと今後の方針】

蒲郡南部小学校のために多くのご意見をいただきありがとうございました。今年も、蒲南小の子どもたちの「自ら学ぶ力」（自分で考え判断し、仲間と協力しながら活動を作り出していこうとする力）を育もうと全職員、力を合わせて努めてまいりました。また、教育目標「自律・尊重・創造する子」を育成するために、総合的な学習の時間を中心に「社会に開かれた教育課程」を意識した授業づくりを行ってきました。4月から様々な場面で、子どもたちが主体的に学ぶ姿を見ることができました。ただ、至らぬ点や気づかぬこともあり、ご心配をおかけしました。学校は「自ら学びきたえる場である」という考えのもと、自分のことは自分です、友だちと仲よくし人のせいにならない、新しいことに挑戦する子をめざして活動していきます。そして、自分たちの課題は自分たちで話し合い、解決し、生活を豊かにしていける子に育てていきたいと思えますそのために、いただいたご意見を全職員で共有して、今後の教育活動にいかしていきたいと思えます。これからも、地域、保護者の方々のご協力が欠かせません。どうぞよろしくお願ひいたします。

本校の教育目標「自律・尊重・創造」する子の育成に向けて、来年度は以下のように取り組んでいきます。

★ 自分づくり「自律…自分で考え、判断し、行動できる子」

基本的な生活習慣の確立に向けて、各学級、児童会、委員会などで様々な取り組みをしてきました。また「あはは（あいさつ・返事・はきものそろえ）運動」に取り組み、子どもたちの「あはは」に対する意識も向上してきました。今後も「あいさつ」「返事」「はきものそろえ」が当たり前にできる子になるよう、「あはは運動」を継続していきます。

授業においては、子どもたちの思いや考えを大切に、体験活動や個別最適な学び（ひとり調べ）を充実させることで、子どもたちが問題解決に向けて主体的に取り組むことができました。

今後も、子どもたちが生活面・学習面ともに「自律」していけるように、その子らしさが輝く手立ての工夫や、一人一人に寄り添ったきめ細やかな支援指導に努めていきます。

蒲郡市では、1学級の人数は最大35人となっています。1学級の最大人数を減らすこと、補助員増加について、遊具の設置については、今後も市教委へ要望していきます。

★ 友だちづくり「尊重…多様な考え方や特性を認め、受け入れる子」

授業で「友達」「地域の人・もの・こと」とかかわる場面を多く取り入れたり、ハッピータイム（全校縦割りの活動）を行ったりしました。子どもたちの様子からは、かかわりがあったからこそできた学びや成長を感じる場面がたくさんありました。

来年度も「聞く」ことを重視したソーシャルスキルトレーニング（ピントタイムや体軸体操など）、「話す」ことや多様な人とかかわり合う場の意図的な設定などにより、コミュニケーション力の育成に努めていきます。授業においては、協働的な学び（かかわり合い）の中で、友だちと学び合う喜びを感じたり、一つのことを成し遂げる達成感を味わったりすることができるように工夫をしていきます。

★ 地域づくり「創造…学んだことを役立て、協働的に挑戦できる子」

本校は、コミュニティスクールとなって3年目になりました。地域学校協働活動では、今年度も授業、クラブ活動、見守り活動、環境整備などで多くの地域の方々・保護者の方々にサポートしていただきました。児童会、ボランティア委員会を中心としたあいさつ運動では、地域の方やPTAの方と一緒に行うことができました。また、地域学習の中で、地域の人・もの・こととかかわり、子どもたちの追究や学びが深まったり、学びが授業だけで終わらず、自分たちの生活を豊かにする活動へと発展したりする姿が見られました。

来年度も、子どもたちの学び、成長のために、家庭・学校・地域が連携、協力していきたいと考えます。そして、子どもたちの学びの成果を発表する場や方法を考えたり、地域の方と交流する場を増やせるようにしていきたいと思えます。今後も蒲中学区の学校運営協議会と連携しながら少しでも前進させ、子どもの笑顔があふれる学校となるよう努めてまいりますので、どうぞご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

今後、文科省から通知されている（蒲郡市教育委員会より10月14日に通知）「学校と教師の業務の3分類」に沿って学校運営協議会で審議し、少しずつ移行していきます。引き続きご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

学校と教師の業務の3分類

別添4

- 教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、服務監督教育委員会は、これらを踏まえて、それぞれの地域における業務の見直しについて、優先的に対応するものから「業務量管理・健康確保措置実施計画」に反映。
- 学校は、学校運営協議会等での議論を経て、優先順位を定めながら、各校の実情に応じた運用を行う。これらの代表例のほか、地域・学校ごとの議論を踏まえて、業務を不断に見直すことが必要。

まず取り組むこと・取り組むべきことは何か、話し合うことが大切です。



学校以外が担うべき業務

- 1 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等
- 2 放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応
- 3 学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）
- 4 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等
- 5 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応

※朝の時間帯や下校時間の後に、学校施設で預かり活動を行う必要がある場合は、学校以外の管理体制を構築

教師以外が積極的に参画すべき業務

- 6 調査・統計等への回答 | 学校への依頼を減らし、デジタル技術を活用しつつ、事務職員を中心に実施
- 7 学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理 | 学校が行う場合は事務職員等が積極的に参画
- 8 ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理 | 教育委員会と連携を図りながら、事務職員等を中心に実施しつつ、地域の実情に応じて外部委託も積極的に検討
- 9 学校プールや体育館等の施設・設備の管理 | 教師は授業等に付随して行う日常点検を担い、外部委託等も積極的に検討
- 10 校舎の開錠・施錠 | 副校長・教頭に固定せず、機械警備、役割分担の見直し等を促進
- 11 児童生徒の休み時間における安全への配慮 | 地域住民等の支援や、輪番等を促進
- 12 校内清掃 | 児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回数・範囲の合理化等を促進
- 13 部活動 | 部活動の地域展開・地域連携を推進

※ 専門スタッフとの協働、デジタル技術の活用や外部委託の促進については、地方公共団体の関係機関が積極的に参画

教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

- 14 給食の時間における対応 | 食に関する指導については、栄養教諭等が対応
- 15 授業準備 | 教材の印刷など補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを実施、デジタル技術の活用を促進
- 16 学習評価や成績処理 | 採点作業等のうち補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを中心に実施、自動採点等のデジタル技術の活用を促進
- 17 学校行事の準備・運営 | 関係機関との日程調整や物品の準備等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進しつつ、必要に応じて外部委託等も検討
- 18 進路指導の準備 | 就職先に関する情報収集等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進
- 19 支援が必要な児童生徒・家庭への対応 | 専門スタッフとの協働等を促進

(出典：文部科学省HP)